

つながりあって元気に

41

2013 春号

平山光子後援会

事務所
大牟田市原山町1-5
0944-53-1661

自宅
大牟田市倉永1651
0944-58-1252

メールアドレス
mitsuko2007@tng.bbq.jp

ホームページ
www.mitsuko-hirayama.net

3・11大牟田市民の集い



東日本大震災から二年以上が過ぎました。被災地では厳しい避難生活が続き、福島第一原発は、終息とは程遠い綱渡りの作業が続いています。改めて起こってはならないことが起こってしまったことを思い知らされます。

集会では、亡くなられた方のご冥福と、被災地に一日も早く希望の春が訪れることを祈り、これからも被災地に、フクシマに、思いを馳せ続けること、脱原発の決意を皆で確認しました。



3.11「いのちを想う」
キャンドルナイト in大牟田
～福島とともに歩む～

2013年度

子どもへの予算 一歩前進

新年度から、大牟田市でも、こども医療費（旧乳幼児医療費）補助は6年生まで拡大されます。（入院費のみ）また、学童保育所は増設はされないものの、学童未設置の上内、上官、玉川、駛馬南校区は、他の学童設置校区まで送迎されることになりました。

教育予算も、特別支援員やスクールソーシャルワーカー、少人数指導のための予算が拡充されます。新年度教育予算の比率は、6.2%から6.8%（約1割、3億8千万円増）になり、他市と比べて著しく軽視されている子どもへの予算が少し充実されました。

しかし、教育予算増の主なもの、学校耐震化に3億円、（すでに100%の自治体が多数）中学校給食センター建設に4億5千万円、世界遺産関連施設等整備に9600万円などで、子どもたちの安全や学習のための施設・設備や備品等の予算が十分だとは言えない状況です。



2月・3月議会報告

2月20日から3月26日まで市議会第4回定例会が開催され、新年度予算や先に示された総計画後期基本計画第二期実施計画の中から様々な質問が行われました。詳細は5月1日発行の市議会だよりでご覧ください。また、インターネットで議会中継がすでにアップされていますのでご覧いただくことができます。（大牟田市 市議会 インターネット議会中継）

議会改革の一環として、決算特別委員会に続き、今回の予算特別委員会でも、個別の意見・要望の中から、議会の総意として特にしっかりと反映することを求めるために一致できる項目があるかを毎日話し合いました。その結果、「公立中学校施設・設備の補修・改善のための一層の予算確保」は、一致した意見となりました。

また、**三川坑跡地**を企業に無償譲渡を受け保存・活用するという提案について、予算が不明なまま承認できないとして議会でも何度も議論が行われました。そして、十分な情報公開と意見反映、市費負担を抑えることを議会の全会一致の決議としました。今後もしっかり監視していかなければなりません。



2月・3月議会で予算決定

今議会は、2月に24年度補正予算（決算に伴う補正）、3月になって、国の異例の年度末緊急経済対策に伴う追加補正予算（執行は次年度以降でも可）、そして新年度予算の提案が行われ、14人の議員が質疑・質問を行いました。その後、議員全員による予算特別委員会で、部局ごとの予算について審査を行いました。

追加補正（本市は27億円）の殆どは、本市では、新年度予算に上げられていた公立学校の耐震化、公共下水道建設などが前倒して計上されています。一般財源（市費）が少なく、すみ財政難の地方にとっては大変ありがたい財源とも言えますが、総額13.1兆円（うち公共事業4.7兆円）もの歳出は、さらに大きく膨らんだ「後世への付け」とも言えます。アベノミクスとして、報道によると景気回復への期待が広がっていますが、非正規雇用、少子化等の諸課題を根本的に見直すでもなく、年金や生活保護費、公務員給与の引き下げなどを行って行って、これで本当に経済の再生や被災地の復興、生活の向上、暮らしの安心に繋がるのかと疑問に思います。

予算特別委員会

平山光子の主な意見・要望

子ども医療費支援のさらなる拡充を
児童保育所未設置校区については送迎は評価するが、全校区設置の検討を（保健福祉部へ）
安全面、学習面からも公立小・中学校の施設
・設備の補修・改善のための予算確保を
これは議会の一致した意見要望になりました
普通教室の空調設備の、早期の設置を

（教育委員会へ）

再生可能エネルギーの推進に向け、更なる取り組みの検討を
（環境部へ）

改定される男女共同参画第2次プランに沿った実効ある事業の推進を
（市民部へ）

追加補正予算の主な事業（約27億円）

動物園整備事業費（ ）は一般財源
1億円（0円）

道路維持、新設改良事業費

4300万円（5万円）

都市下水道事業費

1億2000万円（0円）

学校耐震化、太陽光発電設置、空調更新

8億3010万円（25万4千円）

学校建設事業（旧天道小体育館整備）

1億9360万円（1860万円）

公共下水道建設事業費

6億5000万円（0円）



H25年度予算の事業から

（総額 543億3千万円）

快適住（ス）マイル改修事業費

1010万円（1010万円）

住宅改修費の一割補助、最高10万円まで
中心市街地にぎわい交流施設整備事業費

1億8492万円（1万2千円）

住宅用太陽光発電設備設置事業費補助

1200万円（1200万円）

1KWに3万補助、最高12万円まで
中学校給食共同調理場建設事業費

4億5千7万1千円（2397万円）

学童保育所、未整備校区送迎費

200万円（200万円）

学童未設置の上内、上官、玉川、駿馬南を
他の学童設置校区まで送迎するもの

こども医療費（旧乳幼児医療費）拡充

2億4千万円（1億1806万円）

3歳まで通院・入院無料、就学前は補助
新年度より入院費のみ6年生まで拡大
特別支援教育支援員活用事業費拡充

2483万5千円（2471万7千円）

少人数編成・少人数授業推進事業費拡充

2200万円（2200万円）

スクールソーシャルワーカー配置拡充

384万円（384万円）